若疑シク覚候ハバ 286
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

5月5日
毎月5日20日発行
第8号
購読料 1部 30円
半年分 600円 1年分 1,200円（千円）

叛旗
共産主義者同盟

発行人 川崎文人
編集人 中代義雄
発行所 東京都豊島区巣鴨2-1-97
南京パレス巣鴨ビル2F
大久保プロ気付
共産主義者同盟
「叛旗」編集委員会
TEL 03-353-6809
郵便 東京 163855

5・17砂川闘争
5・19 沖縄全島ゼネスト勝利！
自衛隊立川基地移駐阻止！
（所） 砂川反戦聖域前
（時） 5・17午後2時
（連絡先） 大久保プロ

四月闘争の成果を

全領域全戦線へ！

沖縄・三里塚闘争の全面展開へ

機動隊の制圧に抗しデモを貫徹する反帝戦線（4・27、六本木交差点）

六月沖縄返還調印阻止へ

四～六月戦争へ全戦線の強化で応えよ！

69年秋の敗北の根は深い。以降敗北に敗北を重ねざるをえない根拠や、一切がカンパニア闘争になってしまう根拠の透視と、その透視とわれわれの闘争形態の問題、階級形成の過程形態の問題や、敵・味方・戦線・組織の再編の様式の転位・転出を通じなければ、越えられないと原則的な価値観の問題、それを基盤とする共闘の必然性と、プルジョアジーが生み出す、戦争世界構造における政治政策・政治路線

日本革命思想
戦後革命論の止揚と綱領創出のために
総論（三）三上治

本質的に観念的な転倒

これまで三回に渡る綱領的革命構想への言及は最後についての概要を明らかにすることで、ひとまず結論としてきた。

原理的にはマルクスの言葉を借りて「綱領」とは何ものであるかを明らかにしてきた。

「綱領」とは、まず自然発生的な運動、あるいは革命思想、かたのうえに、「革命」を目的意識的に「綱領」として打ち立てること、そして、これらの歴史的「原理的な「政治」、「革命的実践」の発対化と「綱領」の転倒を、「政治」、「革命」として、私たちは、これを「綱領」として、「革命」が「民族」、「国家」、「民族」、「国家」、「世界」、「国家」、「世界」、「国家」、「世界